



第6回 セントウソウ (有用植物)

山野の林内や林縁などの湿った木陰に群生することが多い。春早くに咲くため他の草花に先駆けて「先頭」で咲くことによるという説がある。雰囲気はセリに似るが柔らかで、葉や茎は無毛でやや艶があり、やや紫色を帯びる。話題になることは少ないが、若い茎葉は天婦羅やお浸しにして食べられる。

団体紹介

久礼野親睦会

久礼野・久礼野団地合同の久礼野親睦会が、3月3日に開催されました。4年ぶりの開催となり、大人と子ども42名の参加があり、新しい会員も仲間入りでにぎやかな会となりました。松村公民館長のおいしい手料理と久しぶりの地域の食事会でみんな和気あいの楽しいひとときを過ごしました。やっぱりみんなでおしゃべりしながら交流する時間は大切だと実感しました。来年の再会も楽しみです！



▲自己紹介で交流しました

~久重の子ども・わかもの活動に いっしょに活動しませんか!~

- * 久重youth「総会」
- * 久重naturalチーム「活動について」

4月28日(日)10~12時
久重小学校家庭科室 (地域開放室)



▲パンフレットの表紙

パンフレットをお届けします!

久重の里山パンフレット5 2023年度『久重の里山の魅力 再発見プロジェクト② ~SDGsで持続可能なまちづくり~』こちら子どもファンドの助成を受けて活動した「久重naturalチーム」、1年間の取り組みをパンフレットにまとめました。

里山やすらぎヨガ

重倉公民館にて
第2・4火曜日

講師/

石邑 純子(いしむら じゅんこ)先生より

こんにちは! ヨガインストラクターjunkoです。このヨガクラスは初めてでも、からだが固くても、老若男女いつからでも始めることができます。ヨガを続けるたびにからだに変化していきます。その変化は目に見えず、数日・数週間では実感がないかもしれませんが、確実に変化しています。高齢化が進む高知県で、たくさんの方にヨガを始めてもらいたいと思っています。ずっと快適に機嫌よく、動けるからで過ごせるように、少しでもお役に立てれば嬉しいです。



〈参加者の声〉

- ヨガレッスンが待ち遠しい♪楽しみにしています!(入定・西川さん)
- 毎週やってくれたら嬉しい!(重倉・大石さん)

久重地域の子ども・わかものが
まちづくりに関わり活躍する様子が新聞やメディアで報道されることが増えてきました。
久重youth(ユース)、久重natural(ナチュラル)チームの活動内容を知りたい方、興味のある方、いっしょに活動したいことも、わかものみなさん、ぜひおいでください。
この日は、久重youth「総会」と、久重naturalチーム「こうちこどもファンド」メンバー登録、年間活動計画を立てます。(団体についての詳細は、両団体のインスタグラムや久重地域連携協議会ホームページに掲載しています。)

「編集後記」：4月からお四国さん巡りをします。今年はずうう年、逆打ちの年です。ご利益が三倍と言われています。秋までに結願できるように頑張ります。(イツコウ) 23年度里山まつりでは初めて実行委員長を経験。企業様・個人様・団体様に例年以上にたくさんのお賛助金のご協力をいただき感謝。皆様ありがとうございました。(スノー) ■なんと、小松菜カブの誕生! 菜園の隅に小松菜とカブのとう立ち花を処分、自然交配で地上は小松菜、地下はカブではないか! 旨かった。(ツメ) ■香美市で開かれたガレッジセールに行ってきた。シカの角、イノシシの鼻、空き缶、空き瓶:見るだけでも心躍る。久重地域でもやってみたら楽しいかもしれない。(せんじゅ(ひろちゃん)) ■初めて広報委員に就任、地域の情報が色々知れて楽しい一年でした! (健康悠母) ■後期高齢者医療保険が市から届いた。これも人生の節目か。今更違った道を歩く馬力もないので、今まで生きてきたようにしっかり生きていこう。(リン) ■春になり、久重にも新しい風が吹き込んできました。今までと変わらぬもの、変わりゆくもの、どちらも大切にしていきたいです。(などみはよれ)

豊かな里山 次代へつなげ!

- 【主な記事】
- 1面 卒園・卒業、こどもまつり
- 2面 オレンジポスト、福祉学習会
- 3面 こどもまつり、公園づくり
- 4面 有用植物、団体紹介

久重地域連携協議会 ニュース

3月1日久重人口	世帯	人口
全体	499	1045
	(0)	(+3)
久礼野	140	305
重倉	359	740
()内は前月との比較		

—第57号—
2024.3.25発行
発行責任者:林照男
編集:広報委員会
高知市重倉1596-134
電話090-4501-3190

ホームページ:「久重連携」で検索ください。



翔べ! 久重の子



連携協議会よりお花と卒園証書ホルダーを送りました

仲間やのびんぎを思い出す

久重保育園と久重小学校では門出の春を迎えました。学び舎を巣立つ子どもたちの笑顔があふれていました。
3月16日久重保育園年長児きりんぐみさん3名がうさぎ・りすくみさんの元気な歌声に祝福されて卒園の日を迎えました。この日の、支え合う仲間の姿や先生方のあたたかいまなざしから、園舎での充実した日々がうかがえました。
3月21日久重小学校6年生9名が木造の学舎から羽ばたきました。ドキドキで転校してきたけどあたたかく迎えられた当時の思い出や楽しかった行事の数々が体育館に響きました。
今年度は数年ぶりに多くの来賓の方が両式へ列席。式場が華やかに祝福のムードに包まれました。特認校で久重に来てくれた園児・児童のみなさん、同じ時を久重で過ごしてくれたありがとう!

盛況! いっしょにわかもの主催のイベント

久重地域に地域の方と交流する公園や居場所を作りたいと企画してきた子どもたち。このほど、地域の方々のお力添えで東屋が完成し落成をする運びとなりました。3月10日(子ども)「だいいかい きゅうじゅうこどもまつり」が開催され、94人の人々が訪れ、昔あそびや里山あそびを楽しみました。小高い丘に名付けた愛称も発表されました。(詳細3面)





地域のお困りごとに対応

今年度もポストに多くの投稿

オレンジポストを設置して3年目。今年度もたくさんの投稿がありました。役員会ですべての投稿について話し合い、行政機関等へつなぎました。また、コロナワクチンの土佐山診療所での接種希望やクイズの応募、花の情報などオレンジポストの活用が広がってきています。特筆すべきは、毎月2回のポスト回収にエースワンのレシート投函がどんどん増えてきており、保育園の財政支援に大きな貢献ができています。

投稿 久重小学校前にもバス停が欲しい(4月)。

対応 久重小へ立ち寄り寄ることにより土佐山―鏡線の運行時間が増え、始発時間などにも影響が出るため、沿線住民の理解が必要になる。バス会社や市交通戦略課がどこまで対応できるか、話を持ち掛けてみる。

投稿 田植え時に井戸水が濁り飲料水はもとより洗濯、ふろ水にも影響。生活に心配なような水道水を引っ張ってこれないか(5月)。

対応 久重地域への上水道の延伸を求めて、行政への働きかけを強める(市長との意見交換会)とともに、濁水対策や安全な飲料水確保など当面の課題解決に向けた話し合い(飲料水問題意見交換会)を継続していく。

投稿 猫は法律での規制はなく、保健所では不妊手術による猫の増殖を防ぐことを呼びかけてもらいたい場合は、何とかがして欲しい(6月)。

対応 猫のふんがひどい。その対策で何かいい知恵はないか(6月)。

投稿 猫は法律での規制はなく、保健所では不妊手術による猫の増殖を防ぐことを呼びかけてもらいたい場合は、何とかがして欲しい(6月)。

対応 猫のふんがひどい。その対策で何かいい知恵はないか(6月)。

投稿 視覚障害があるが、一人暮らしになって手紙などがどこのなにか識別できないので困っている。1、2週間に一度訪問してもらえないだろうか(11月)。

対応 ①連携協議会ニュースで協力できる人がいないか呼びかけたところ、訪問してくれる方が現れた。②協力者から3月に投稿があり、2月からの3回のペースで訪問し、郵便物の開封と送付組への応募の代筆をしてもらうと報告があった(3月)。

投稿 久礼野県道沿い敷地への残土搬入・盛土について(2月2人) ①道路を汚して入り、洗って欲しい、②車両の出入りに警備員を配置、③盛土規制法に抵触していないか、抵触していれば対応を。

対応 ①、②↓県道管理者(高知土木)に対応を要望。数日後従業員らしき人が道路の清掃をしていた。③↓市都市計画課に相談。同課で検討してもらっている。

9月にアサギマダラ、2、3月にユキワリシズカ、チョウウチヨやお花の情報提供があり、連携ニュースやコミュニティで紹介しました。

6月にコロナワクチン接種7件、1月にお年玉クイズ応募に57件の投函がありました。



生活支援ポララ養成講座

子ども・わかもの主催イベント

だいいかい きゅうじゅう こどもまつり



▲こどもまつりに集まったこどもたちと youth メンバー

久重 youth が発足して一年近くが過ぎました。「子どもたちが楽しめるイベントを企画したい!」と知恵を出し合い、3月10日、「だいいかい きゅうじゅう こどもまつり」を開催しました。参加者は子どもから大人まで94人。クイズラリー、里山ストライク、昔あそび、木こり体験、木工体験、弓矢あそび、ロープ登り、簡易トイレ体験:子どもたちは思い思いに好きな体験活動で時間いっぱい遊びました。なかでも大人気だったのは木工体験の自由工作です。廃材の木切れを使い、釘や金づち、ボンドなどで作品を作り上げます。自由な発想で自分の想像するものを自由に作ります。大人に見守られながらのこぎりも使いました。子どもたちは小高い丘を上へ下へと大忙しで遊びに夢中。

公園の愛称は「ひだまりの丘」! 地域の居場所「東屋」の落成も

久重 youth のわかものが話し合い、小高い丘の愛称を「ひだまりの丘」と名付け、この日みなさんにお披露目しました。また、地域内外の方々にご協力いただき完成した「東屋」の落成も同時に行いました。

子どもたち主催のイベントは初めてのころみ。準備・実施・反省と:来年度もパワーアップしたこどもまつりで子どもたちをまた楽しませることでしよう。

「地域の人たちをつなぐ場所」にしたい。これまでたくさんの方が協力してくれた。若い人が久重にすみ続けたいと思える取り組みにしたい!」

参加者の感想:「こどもの楽しい表情を見て、来てよかったです。普段できない自然の中での体験ができてよかった。お兄さんお姉さんが優しく、関係性がほほえましく、我が子もこんな風に成長してほしいと感じました。またしてほしい。」



寄贈のブランコ 東屋の落成テープカット 落成のくす玉



人気の木工体験 昔あそびで交流 開会のことば



竹で木こり体験 弓矢あそび ロープ登り

誕生!! ひだまりの丘 書 山本早穂子(小学新6年)

お困りごとの解決へ

ボランティアの検討

連携協議会では、支えあいの地域「久重型共生社会」の推進に取り組んでいます。ちよとしたお困りごとを解決するために効果的なボランティア集団の必要性を痛感し、市の「高知市訪問型B事業」の学習会を行いました。今後、プロジェクトチームで事業の可能性について検討を進めます。

久重地域では、オレンジポストを設置して地域のお困りごとを、行政や専門機関につなぐことにより解決を図ってきました。しかし、ゴミ出しや家具の移動、草刈などは、地域で解決しなければならず、これまで十分な対応ができていません。

こうしたお困りごとを解決するためには、ボランティアの存在が不可欠です。できれば無償のボランティアではなく、ボランティアに対して何かの有償的な措置ができれば、頼む方も頼まれる方も気兼ねなく助け合いができるのではないかと考え、その可能性がある「高知市訪問型B事業」の検討をしてみることにしました。

「緑ヶ丘団地では、2月に「生活支援ボランティア養成講座」を行い24人が参加、18人が市社協の生活支援ボランティアセンターに登録、無償の生活支援ボランティア活動を進めていくことになりました。今後「高知市訪問型B事業」への対応をめざしていくこととしています。